

ANZEN

NO 143

2025 SPRING

全国安全週間

2025年7月1日▶7日

準備期間 6月1日▶30日



安全衛生ポスター 最優秀賞

「見のがすな！現場の不注意」

西日本支店 鶴飼 洋行（鶴飼 真行 家族）

再確認 大丈夫なのは さつきまで

安全衛生標語 最優秀賞 乾開発工業(株) 谷本 陽二郎 作品

作業前 気持ち整え 深呼吸 あなたの気がきが 現場を守る

安全衛生標語 最優秀賞 社員 前川 翔平 作品

ANZEN

ANZEN NO.143 SPRING

CONTENTS

- ◇ 「2025 年度安全衛生管理計画推進におきて」
大日本土木安全協会 名誉会長 竹田 勝一 …… 1
(大日本土木(株) 代表取締役 常務執行役員会長)

- ◇ 「新事業年度を迎えて」
大日本土木安全協会 会長 森屋 泰則 …… 1
(株)森屋製作所 代表取締役会長
東京支部長 藤澤 徹 …… 2
(株)森田組 代表取締役
名古屋支部長 酒井田 雅一 …… 2
(株)酒井田工務店 代表取締役
大阪支部長 山川 数也 …… 3
(株)山川 代表取締役社長

- ◇ 2025 年度 安全衛生管理計画 (抜粋) …… 4
- ◇ 2024 年度 安全衛生・環境 論文、ポスター、標語入選作品 … 8
- ◇ 受賞作品集 安全衛生論文・環境論文 <最優秀賞> …… 10
安全衛生ポスター・環境ポスター <最優秀賞> …… 14
<優秀賞><優良賞> …… 16

- ◇ 本部だより …… 17

- ◇ 支部だより <東京支部・名古屋支部・大阪支部> …… 18

- ◇ 2025 年度大日本土木安全協会 本部役員名簿
(2025年4月1日現在) …… 24

- ◇ 付録 EXPO 2025 大阪・関西万博 ~セネガル館~ …… 25

発行元：大日本土木安全協会

東京都新宿区西新宿 6-16-6 TEL03-5326-3772

令和7年4月1日



2025年度安全衛生管理計画推進にむけて

大日本土木安全協会

名誉会長 竹田 勝一

(大日本土木株式会社 代表取締役 常務執行役員)

ご安全に！

本年度も引き続き、安全協会会員の皆様のご協力、ご支援を賜りながら安全衛生管理活動を推進したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、安全協会会員の皆様に於かれましては、平素より弊社の安全衛生管理活動に積極的に取り組んで戴いていることに、篤く御礼申し上げます。

さて、昨年度の安全成績ですが、海外も含めた全店で21件の災害が発生しています。2年連続で災害件数が減少していること、内容の悪い災害も減少していることは、安全協会の皆様のご尽力と努力の成果と感謝申し上げます。

しかしながら、重点管理事項として取り組みました墜落・転落災害、クレーン災害が発生してしまったこと、架空線・埋設物破損が増加したこと、各支店の災害を5件以内に抑えられなかったことは大いに反省し、今年度は更に活動を活性化させ、昨年度、届かなかった目標を達成したいと考えています。

本年度は仕事量も増加し忙しくなりそうです。当社と安全協会の皆様が協力し、一丸となって取り組まないと各支店の安全目標達成は難しいと考えています。

今年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご安全に！

令和7年4月1日



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協会

本部部长 森屋 泰則

(株式会社 森屋製作所 代表取締役会長)

ご安全に！

新事業年度のスタートに際してご挨拶申し上げます。日頃より安全協会会員の皆様には、本部及び各支部の安全協会の事業計画、並びに労働災害防止活動にご支援を頂いております事、ここに厚く敬意を表しますとともに、本年度も引き続きのご協力の程をお願い申し上げます。

例年よりも少し寒い冬もようやく終わり、満開の桜と共に2025年度の安全協会活動がスタートしました。昨年度の安全成績は、目標値には届かなかったものの件数・内容とも一定の成果がみられた結果であったと思います。これは活発なコミュニケーション活動や会員皆様の安全意識向上がもたらした結果であり、本年度も継続していきたいと考えます。しかしながら、公衆災害は一昨年と同様の結果となっていますので、この点は改善の余地があると考えます。特に車両・重機による物損事故といった慣れによるヒューマンエラー事故が多かったため今年度も安全管理活動の重点施策として、原因究明と再発防止に取り組んでまいります。

我々の建設業界も「働き方改革」から「働きがい改革」へと魅力のある業界として若者に認識されるようになってきました。新しく入ってくる人材が安心・安全に働ける環境作りは私たちの命題です。そして大日本土木様様の企業理念である「安心をつくり続ける。」を実現する事が安全協会の使命と考え、無事故無災害を達成すべく、本会を運営して行きたいと考えておりますので、今以上のご努力をお願いします。

最後になりますが、大日本土木様様と会員各社様の益々のご隆盛とご繁栄、無事故無災害をご祈念し新事業年度のご挨拶とさせていただきます。

ご安全に！

令和7年4月1日



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協会 東京支部長 藤澤 徹 (株式会社 森田組 代表取締役)

ご安全に！

新事業年度を迎え、安全協会会員の皆様には、大日本土木安全協会東京支部の事業計画ならびに労働災害防止活動の運営に、日頃から格別なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度の安全成績は、土木・建築作業所での不慮災害が6件発生しました。また、公衆災害として埋設電線や架空線の破損などが3件発生しております。これらの災害の主な原因は、整理整頓の不備、事前の計画や現地確認の不備、コミュニケーション不足であると考えられます。職長会や事業主パトロールを充実させ、声かけによるコミュニケーションを通じて一つでも労働災害がなくなるよう、会員皆様の御協力をお願いします。

建設業界では、老朽化施設の建て替えや国土強靱化、防災・減災対策の需要が増加する見込みです。また、時間外労働の上限規制への対応や人手不足への対策として、建設キャリアアップシステムの活用や建設DXによる業務効率化が重要です。

安全協会としては、店社と協同し、働きやすい環境整備と若手人材の確保に取り組んでまいります。会員の皆様におかれましては、自主的な安全衛生活動を通じて、災害のない安全・安心な職場づくりにご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸、会員各社の無災害とさらなるご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

ご安全に！

令和7年4月1日



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協会 名古屋支部長 酒井田 雅一 (株式会社 酒井田工務店 代表取締役)

ご安全に！

名古屋支部の会員の皆様には、事業運営並びに労働災害防止活動に日頃からご支援をいただいておりますこと、ここに厚く敬意を表しますとともに、本年度も引き続きのご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

2024年度の安全成績については、労働災害5件以下という目標に対し、9件と目標達成には至りませんでした。死亡・重篤災害はなかったものの、一歩間違えれば重篤災害になりかねない案件もありました。また、公衆災害において埋設管・架空線の損傷事故が5件発生しました。2023年度よりも多く発生しており、誠に憂慮すべき事態です。昨年の反省が生かされず、大変残念に思います。これらの事故は、適切なコミュニケーションと作業所ルールの遵守により防げたものと考えられます。今一度反省・検証を行い、本年度こそは「ゼロ災」を達成したいと考えておりますので、会員の皆様方の引き続きのご協力をお願いいたします。

熱中症対策も重要な課題です。例年の取り組みとして、夏場の熱中症対策では塩ビタミンゼリーの配付や日よけテントの設置を実施しています。さらに、事業主パトロールの頻度を増やし、現場の要望に耳を傾け、真に必要な支援を行ってまいりたいと考えております。ご意見がございましたら、どうぞ遠慮なくお申し付けください。

本年度こそは、会員各社の自主的な安全衛生活動による更なる活性化を期待し、昨年度を上回る安全成績が残せるよう、会員の皆様と共に邁進してまいりたいと存じます。

最後になりますが、会員各社の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念し、新年度のご挨拶とさせていただきます。

ご安全に！



新事業年度を迎えて

大日本土木安全協会 大阪支部長 山川 数也 (株式会社 山川 代表取締役社長)

ご安全に！

新事業年度を迎えるにあたり、大阪支部会員の皆様には、日頃より安全協会大阪支部の事業運営、労働災害防止活動にご支援を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。本年度も引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくごお願い申し上げます。

2025年は乙巳（きのと・み）年で、しなやかに前進し成長する年であり、また「再生と変化」の年でもあります。今年も大きな変化や成長が期待される年となりそうです。

世界に目を向けると、大谷選手の二刀流復活、PGA ツアーでの松山英樹選手の開幕戦優勝など、今年も多く日本人の活躍が期待されています。国内では、大阪・関西万博が4月に開催されるなど、明るい話題も多くあります。しかしながら、2月には大船渡市等での林野火災の発生や、発生確率が高まっている南海トラフ地震など、いつ起こるか分からない自然災害から身の安全を守るよう、常に防災意識を持ち続けなければならないと感じております。

昨年度の西日本支店における労働災害は、目標より1件多い6件が発生しました。その中でも、一つ間違えると死亡・重篤災害につながる可能性のある墜落災害が2件発生したことは、非常に残念です。立入禁止区域内への近道行為や昇降梯子の不適切な使用、判断の甘さや横着行為が災害につながりました。仲間同士で声を掛け合い、災害を未然に防ぐようお願いいたします。

本年度も協会社各社の自主管理能力の向上を図り、ルールを遵守し、事故のない環境を構築して「災害ゼロ」を達成できるよう、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご安全に！

～ 編集部からのお知らせ ～

- 『あんぜん』のデザインを今号よりリニューアルしました
新しくなった『ANZEN』をご堪能ください
- 「大日本土木安全協会」に英語表記が加わりました

DNC.SCG

SAFETY COOPERATION GROUP

『ANZEN』編集部

大日本土木安全協会

本部事務局長

本部事務局

本部事務局



部長 岡山 孝



グループ長 後藤 広長
大日本土木(株) 本社 環境安全品質部



常田 佐知代

2025年度 安全衛生管理計画（抜粋）

1. 安全衛生目標

（1）安全目標

死亡・重篤・公衆災害 ゼロ

- 1) 墜落・転落災害の防止
- 2) 建設機械・クレーン災害の防止
- 3) 崩壊・倒壊災害の防止
- 4) 飛来・落下災害の防止
- 5) 交通事故・公衆災害の防止
- 6) JVsub 工事における安全管理

（2）衛生目標

疾病労災 ゼロ

- 1) 作業環境の整備・改善（感染症予防対策、熱中症予防対策等）
- 2) 働き方改革の推進

2. 安全衛生目標を実施するための行動計画

関係協力会社と協働して災害事故防止活動に取り組み、支店長が率先垂範し実効性のある指導指示を行い、以下に示す重点管理事項について全員の力を結集して取り組む

（1）元方事業者管理の確実な実施

1) 店社における安全衛生管理

- ①安全衛生委員会、所長会、営業引継会、工事打合会、施工検討会の実施
- ②店社の安全衛生環境パトロール、内部監査（MS 監査・ライン監査）、作業所指導の実施
- ③施工計画の事前審査、特に足場計画（10m 以上すべて）の店社確認
- ④JVsub 工事における安全管理・教育指導の推進
 - ・JV スポンサーに安全衛生パトロールの要請・実施
 - ・JVsub 赴任社員の教育・育成

2) 作業所における安全衛生管理

- ①作業所長の確実な統括管理の遂行
 - ・労働安全衛生関係法令、社内基準を遵守した作業所管理
 - ・安全管理の3原則（整理整頓・事前打合・現場点検）の実施
 - ・指定危険作業、予定外・非定常作業時における事前打ち合わせの実施

- ・協力会社による作業手順書周知会の実施指導
- ・建設キャリアアップシステムを普及促進（就業者数タッチ率の向上）
- ・建設DXによる管理業務の効率化

②墜落・転落災害の防止

- ・墜落制止用器具の正しい装着・使用
- ・足場、開口部、作業床（端部）からの墜落防止設備の先行設置
- ・足場管理体制図の運用、足場点検者選任と点検実施

③建設機械・クレーン災害の防止

- ・クレーンの転倒事故防止
 - クレーン作業計画の確認・指導
 - 定格荷重の厳守
 - 過負荷防止、巻過防止等安全装置の確認
- ・建設機械の接触防止
 - 重機作業計画の確認・指導
 - 建設機械作業エリアへの立入禁止
- ・バックホウ作業においては後退禁止、誘導合図なしでバックしない
- ・重機作業における死角体験教育・誘導訓練教育の実施

④崩壊・倒壊災害の防止

- （土止め支保工・型枠支保工・解体作業・はい作業・足場）
- ・解体工事における施工検討会の実施
 - 事前調査に基づく解体工法・作業順序・控えの設置方法等
 - リスク低減措置を盛り込んだ施工計画及び作業手順の作成
 - 実施指導
- ・エレベーター内ステージ、足場、仮設備における構造計算の実施
 - 計画した材料・施工方法の実施確認指導
- ・掘削地盤の事前調査、法面の作業開始前点検
- ・強風による足場、仮囲い、仮設物の倒壊防止対策

⑤飛来・落下災害の防止

- ・資機材や工具を落下させないための事前防護
 - 落下防止ネットや工具落下防止ロープによる落下物の防止
- ・上下作業の禁止、立入禁止区域の設定
 - 作業手順の事前打合せ、朝礼・昼礼で関係者に周知
- ・強風による資材の飛散防止
 - 安全コーンや看板の確実な固定

⑥交通事故・公衆災害の防止

- ・周辺状況（地盤、埋設物、架空線、近接構造物、飛来・落下物）の事前調査と災害防止対策の作成・実施
- ・第三者災害防止対策の実施状況確認（作業区画境界、特に出入り口）

- ・交通事故防止のための指導
指差呼称と呼称運転の実施
- ・車両の輪止め（車止め）実施

- ⑦ ヒューマンエラー、不安全行動に起因する災害防止
- ・4S運動（整理、整頓、清掃、清潔）
 - ・労働災害事例教育
 - ・ヒヤリハットの情報共有による労働災害要因排除
（作業手順・安全設備の改善、見える化）

- ⑧ 化学物質管理
- ・工場で使用する化学物質の把握、化学物質安全データシート(SDS)による危険有害性の確認
 - ・危険有害性に基づくリスクアセスメントの実施
 - ・化学物質管理者・保護具着用管理責任者の選任確認と場内掲示
 - ・ばく露防止のために必要な措置の実施確認

(2) 協力会社の自主管理能力の向上促進

1) 事業者責任の遂行

- ①作業所安全衛生活動への完全参加
- ②作業所で決められたルール、安全指示の遵守
- ③当該作業所に合致した送り出し教育の実施

2) 安全施工サイクル活動

- ①KYミーティングにおける安全唱和の実施
- ②不安全行動排除のため、一声かけ運動、一人KY、現地KY、ヒヤリハット、グーパー運動の実施（コミュニケーションの充実）
- ③保護具の完全着装
- ④指定危険作業の事前打合せの実施

3) リスクアセスメントを取り入れた作業手順の作成・周知

化学物質を使用する作業では、安全データシート(SDS)で危険有害性を確認し、リスクアセスメントを実施。化学物質管理者・保護具着用管理責任者を選任し、ばく露防止に必要な措置を実施

4) 非定常・予定外作業（作業内容変更時等）の作業手順の確認

予定されていなかった作業は、一旦作業を止め、元請に作業変更内容を報告し、作業手順の確認・KYミーティングを実施

5) 再下請負人の管理 ※7

- ①再下請負人の適正な選定
- ②単独作業にならない配置と確実な指示伝達

- ③二次以降協力会社の安全衛生・環境管理協議会への参加
- ④社会保険未加入事業者の排除
- ⑤事業主・一人親方の労災特別加入の確認指導
- ⑥労務管理業務の電子化（調整会議、労務安全、入退場管理）
- ⑦建設キャリアアップシステム技能者登録と就業履歴の確実な蓄積

6) 職長会の充実

職長ヘルメットの着用によるコミュニケーションの活性化と
リーダーシップ意識の向上

7) 労災上積み保険の加入促進

8) 安全協力会、パートナー会の活動推進

(3) 健康で快適な職場環境の形成

1) 作業環境の整備・改善

- ①感染症予防対策、暑さ指数（WBGT）測定管理による熱中症
予防対策の実施
- ②アーク溶接、はつり、解体作業に関わる粉じん障害防止対策の実施
作業環境に応じた適切な保護具の選択と確実な装着の教育指導
- ③酸欠、一酸化炭素中毒の防止対策の実施

2) 健康管理及び健康保持の推進

特定業務を含む定期健康診断完全実施、再検査受診の指導及び職業性
疾病予防対策、メンタルヘルスケアの推進

3) 働き方改革の推進、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の
実現

(4) 労働安全衛生マネジメントシステムの運用

- 1) 安全衛生管理手法としての運用と継続的改善
- 2) 社員及び協力会社に対する、安全衛生教育の継続
- 3) P D C A「計画－実行－評価－改善」サイクルの確実な実施
- 4) 改善事項、好事例の水平展開

(5) 災害発生時の迅速な報告と適切な対応

- 1) B C P（事業継続計画）の継続的な改善
- 2) 関係各所の確認及び連絡体制の整備
- 3) 対策本部の設置と訓練の実施

2024 年度『安全衛生』論文、ポスター、標語 入選作品

※受賞者の店・所属は 2024 年度作品募集時を基に掲載

『論文』

区 分	会社名	店	所 属	氏 名	タ イ ト ル
最優秀	大日本土木(株)	西日本	近不八木マ	成瀬 拓真	作業員への安全周知活動について
優秀	大日本土木(株)	東日本	小山造成	鮫島 彰吾	安全への導き
優良	大日本土木(株)	東日本	デリカ福生解体	對馬 彰太	熱中警戒アラートバンド使用による現場の熱中症対策

『ポスター』

区 分	会社名	店	所 属	氏 名	タ イ ト ル
最優秀	大日本土木(株)	西日本	奈良県立医科大	鵜飼 洋行 (鵜飼 真行 家族)	見のがすな！現場の不注意
優秀	大日本土木(株)	海外	総務部	大槻 良子 (大槻 浩 家族)	家族も見守るあなたの安全
優良	(株)ナミト	中日本	多治見公園整備	飯田 あゆみ	気を付けて体の異変 ムシ禁物！！

『標語』

区 分	会社名	店	所 属	氏 名	標 語
最優秀	乾開発工業(株)	西日本	水企阪神猪名川	谷本 陽二郎	再確認 大丈夫なのは さっきまで
最優秀	大日本土木(株)	西日本	防衛ハンセン	前川 翔平	作業前 気持ち整え 深呼吸 あなたの気付きが 現場を守る
優良	(株)森岡組	西日本	貝塚脇浜推進	大井 彰久	いつもと違うは危険のサイン すばやい対処で築く安全

2024年度『環境』論文、ポスター、標語 入選作品

※受賞者の店・所属は2024年度作品募集時を基に掲載

『論文』

区分	会社名	店	所属	氏名	タイトル
最優秀	大日本土木(株)	中日本	防衛各務原雨水	林 奈那	建設業で働く女性の環境について
優秀	大日本土木(株)	東日本	デリカ福生解体	對馬 彰太	現場吹付発砲ウレタン施工前のスパーサー設置による使用材の少量化と廃材の削減
優良	大日本土木(株)	西日本	近不花園本町マ	薄田 昇吾	環境問題は他人事？

『ポスター』

区分	会社名	店	所属	氏名	タイトル
最優秀	大日本土木(株)	海外	購買グループ	山下 京子	育てようまもる心
優秀	大日本土木(株)	西日本	近不浜島PJ	海野 雄輝	地球を守ろう！省エネを
優良	大日本土木(株)	東日本	JS 黒磯	池上 拓実	地球を守ろう！

『標語』

区分	会社名	店	所属	氏名	標語
最優秀	(株)立保	中日本	高速恵那山法面	山中 知也	ゴミ一つ 捨て方一つで リサイクル
優秀	大日本土木(株)	東日本	西谷浄水場	後藤 龍一	リサイクル 意識の量が 資源の量
優良	大日本土木(株)	中日本	高速恵那山法面	桂川 歩美	未来のために考え直す 無くそうエゴイズム 増やそうエコリズム



作業員への安全周知活動について

西日本支店 成瀬 拓真

はじめに

日々工事現場では、多くの業種の作業員が働いています。工事を安全に行うためには、作業員や周りを歩く人々が事故やけがをしないように、全体への周知活動を行うことがとても重要です。しかし、朝礼での指示内容が全員に伝わるかという点では、作業員の伝わりきることは少ないと感じます。また、「全員で集まって行う行為」という行事は、日々人が入れ替わる工事現場では、団結力を高める一種の行為ではありますが、そのぶんの時間×人工を費やす行為ではあります。そのため私は、「周知の方法」と「時間の効率化」に焦点を当てて思案しました。

周知の方法について

周知の方法で重要な事項は、日々変わる現場の危険個所を作業員全員が理解することであると思います。そのために必要なのは、①図面を用いて危険個所の場所を把握すること②実際の危険個所に表示を行うこと。③わかりやすく要点だけをまとめること。の3点であると思います。「①図面を用いて危険個所の場所を把握すること」と「③わかりやすく要点だけをまとめること。」は、デジタルサイネージを用いた朝礼を行う現場も多いため、現状整備は進んでいると感じます。また、「②実際の危険個所に表示を行うこと。」は各業者に、区画や表示を行ってもらうように手配することで、流動的な区画の実施を行うことができます。上記項目を重点的に考慮することで、作業員に周知事項を伝えることができるようではないかと思えます。また、現在は朝礼後に各業者でKYを行うことで、番頭・職長を通して作業員に再度確認を行っている状態です。

時間の効率化について

冒頭でも述べた通り朝礼は、時間×人工が必要な行為です。また、朝礼は安全面から見ると必要な行為です。実際に、1日で多くの現場をかけもつ協力会社も多く、朝礼の数時間後に入場することもあります。本来であれば、そのような業者にも朝礼と同様な周知を行う必要がありますが、限られた職員で、朝礼と同様な周知を行うことは時間の浪費です。そのため、朝礼と同様な説明を行うことができるように考慮しなければなりません。

朝礼のシステム化

作業を効率化するにはシステム化は必要です。弊社であれば、Buildeeにて作業指示書の作成であったり施工体制台帳の登記や、作業計画書がテンプレートが存在しているなど多くの効率化されたものがあります。朝礼にも、システム化できる余地は十分にあると感じます。それは、全体で集まって朝礼をするのではなく、入場した業者に対して前日に撮影した動画で周知事項を番頭・職長へ伝え、その後の各業者のKYで作業員に周知をしてもらうという方法です。現場の体系図として、「元請→協力会社番頭・職長→作業員」であるため、少なくとも番頭・職長に周知事項が伝わりきることができれば、各業者が行うKYミーティング内で全作業員に伝わりきることができると思います。また、室内にモニターを置き周辺に記入を行うKY用紙や作業計画書を置くなど、当日記入が必要な資料を置くことで、周知と安全書類の記入漏れが少なくなると思います。

結論

時間短縮といって安全行事を疎かにできる訳ではありません。しかし、朝礼に代わる資料作成や職長打ち合わせ等での綿密な計画作り、安全設備の視認性の向上で朝礼を補うことはできると思います。また、今後も新しい技術の導入により、安全管理がさらに強化され、工事現場全体の安全性が向上すると思います。特に時間短縮においては改善の余地は多いにあると感じます。

最後に

私は入社して以来現場目であり経験も少ないため、本文は非現実的な論であるかもしれませんが、安全に対しては日々の業務や安全行事を通して、意力や知識を身につけてきました。今後も安全に手を抜くことなく、現作業所の無事故無災害での竣工を目指して業務に取り組み、経験を次の配属先の現場に活かしていきます。



建設業で働く女性の環境について

中日本支店 林 奈那

はじめに

今回、SDGs17の目標“5. ジェンダー平等を実現しよう”に焦点を当て、建設業に従事する女性を取り巻く環境について考える。

日本建設業連合会によると、全産業の就業者中に占める女性の割合は2023年では45.3%である。しかし、建設業は年々増加しているが他の業界より少なく18.2%、そのうち技術者はさらに少なく2.7%である。当社も女性技術者は少なく、離職率も高いことから環境改善の余地は大きいと考える。また、建設業従事者は減少している中、女性技術者は増加傾向にあることから、女性活躍の機運は高まっており、女性技術者を定着させることができれば、人手不足解消の1歩につながると考える。そこで、私の考える女性の働く環境改善対策を3つ挙げていく。

1. ハード面での環境整備

1つ目は女性専用トイレの設置や快適トイレ・更衣室の設置である。

私の働く現場では快適トイレの設置がしてあり、共有空間との間仕切りや外鍵、事務所の動線の工夫によりプライバシーが確保されている。女性がほとんどいない環境下での不安要素として大きい、“プライバシーの確保”を解決することで女性が安心して働ける環境を作ることが大切だと考える。

女性が配置される現場には快適トイレが設置されている場所が多いため、きっかけは女性のための設置であっても、男性含む全体で快適トイレが普及すれば、建設業のイメージでよく言われる”汚い”のイメージが払拭され则认为。実際にインターンで現場見学に来た学生に快適トイレを見せると、“イメージと違いきれい”、“女性からは”これなら安心”と高評価が得られた。

2. ソフト面での環境整備（女性が働く環境についての教育）

はじめに、女性ならではの法律についての教育である。女性労働基準規則には、坑内業務の就業制限や化学物質の取り扱い制限・運搬時の重量制限（18歳以上で単発作業の場合：30kg以上、継続作業の場合：20kg以上）等これら以外にも規則や制限も多いが、知らない人が多い。実際、私自身そのような制限があると知らずに半年以上働いていた。女性

ならではの制限があることを会社が教育することで女性が安全に働くことができる労働環境を整えることができる。

次にキャリアアップについての教育である。キャリアアップ研修や育休・産休制度等教育を行うことでロールモデルがいない女性社員にも働き続けられる環境が整うと考える。

また、男性の育休制度についても、建設業は他業種に比べかなり遅れを取っているが、教育等行うことで男性も育休取得がしやすくなると考える。

最後に、建設現場でよく問題となるのが、ハラスメント問題である。当社でも女性だけが集まり、働きやすい環境を整えるための話し合いが行われており、セクハラ相談等親身に聞く体制が整えられている。しかし、セクハラを1回でも受けるとそれがトラウマとなり、退職につながるケースが多いため、セクハラを受けない・させない教育が必要だと考える。現場では、新規入場者教育時に”当作業所ではセクハラ・パワハラ行為を禁止します”という1文を入れているが効果が得られていると感じている。

建設業で女性が増えてきたのは近年のため、距離感が分からないという意見を聞くが、女性だけでなく男性にも法律やハラスメントについて知ってもらうことで、両者ともに働きやすい環境となると考える。

3. 同業他社との連携

当社でもけんせつ小町の会という女性技術者だけの話し合いの場があるが、技術者が少なく中日本支店では私含め2人である。参加人数が少ないと意見が出ず、偏りがちになるため、他社との連携を図り、けんせつ小町のネットワークを広げることで、意見が収集しやすく環境改善促進につながると考える。

上記の3つの解決策により、女性の働きやすい・働き続けられる環境を整えることができると考える。また、女性の制度が整うことで男性にとっても働きやすい環境を実現し、SDGsの”ジェンダー平等の実現”に近づくと考える。また、環境を整え、技術者を定着させることができれば、人手不足解消の一步につながると考える。

🏆 安全衛生ポスター最優秀賞



「見のがすな！現場の不注意」
西日本支店 鵜飼 洋行（鵜飼 真行 家族）



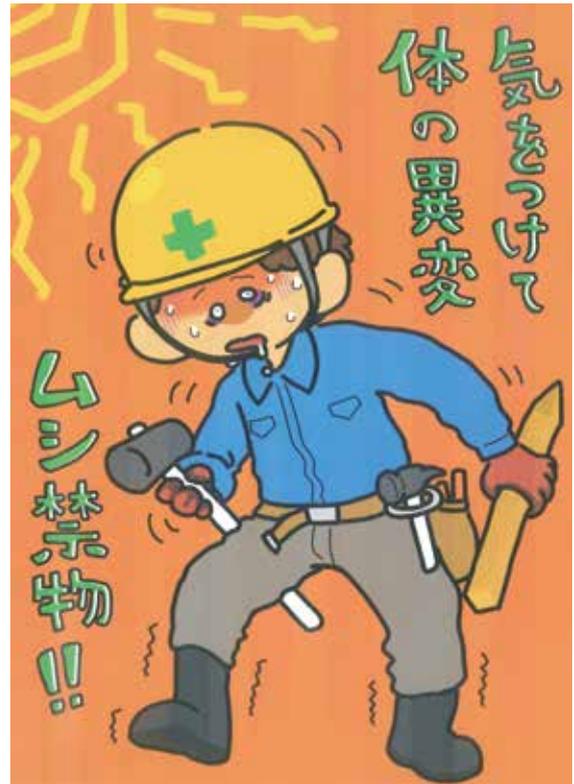
「育てようまもる心」
海外支店 山下 京子

🏆 安全衛生ポスター 優秀賞



「家族も見守るあなたの安全」
海外支店 大槻 良子 (大槻 浩 家族)

🏆 安全衛生ポスター 優良賞



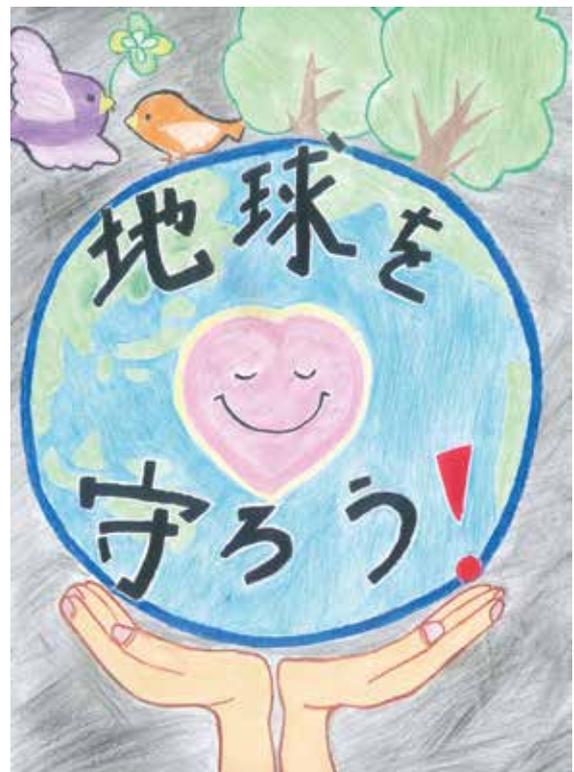
「気を付けて体の異変 ムシ禁物!!」
(株)ナミト 飯田 あゆみ

🏆 環境ポスター 優秀賞



「地球を守ろう! 省エネを」
西日本支店 海野 雄輝

🏆 環境ポスター 優良賞



「地球を守ろう!」
東日本支店 池上 拓実

1. 安全祈願

令和7年1月17日（金）に日枝神社にて、竹田名誉会長、藤澤副会長、酒井田副会長、山川副会長、金神本部監事、本部事務局が参加し、今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。

日枝神社は、東京永田町にあり、古くから「山王さん」として親しまれ、山や水を司り、万物の生成発展守護している「大山咋神[おおやまくいのかみ]」が祀られています。



2. 安全衛生環境パトロール

安全協会本部役員による特別パトロールを実施しました。

- 1) 実施日：令和6年10月25日（金）
- 2) 巡視作業所：①防衛ハンセン作業所（土木） ②防衛陸自那覇A作業所（建築）
- 3) 巡視者：竹田名誉会長、森屋会長、山川副会長、岡山本部事務局長、廣瀬支部事務局長



- 1) 実施日：令和6年11月19日（火）
- 2) 巡視作業所：①秀明川越改築作業所（建築）②所沢造成作業所（土木）
- 3) 巡視者：竹田名誉会長、森屋会長、藤澤副会長、岡山本部事務局長、土田支部事務局長



東京支部

1. 安全祈願

令和7年1月23日（木）に、明治神宮にて安全協力会東京支部と支店幹部、安全衛生委員が参加して今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。

明治神宮は東京渋谷にあり明治天皇と昭憲皇太后を御祭神とし、創建は大正9年11月1日で70万平方メートルの広大な鎮守の杜は、創建に当たり全国から献木された約10万本を植栽し、「永遠の杜」を目指して造成された人工林です。



2. 安全衛生環境パトロール

令和6年10月31日（木）に支部3役（支部長、両副支部長）にて、令和7年2月4日（火）には支部理事にて建築・土木3作業所をパトロールし安全指導を行いました。パトロールでは職長との意見交換会を行い支店幹部へ助言し改善を要求しました。



支部3役パトロール 巡視状況



東京支部パトロール 意見交換会

【建築】 PL 錦糸町倉庫作業所



【土木】 所沢造成作業所（巡視状況）



【建築】 西谷浄水場作業所（巡視状況）

3. 今後の活動予定

- 6月 支部総会（全電通労働会館）
- 6月 支部安全衛生パトロール
- 7月 支部環境パトロール

4. 担当者紹介

今年度の大日本土木株式会社 安全協力会役員をご紹介します。

大日本土木安全協力会

名誉支部長



大日本土木(株)
執行役員 東日本支店長
羽田野 真希雄
(本社 土木本部より転属)

支部事務局長



大日本土木(株)
東日本支店 環境安全品質部次長
土田 芳典

支部監事



大日本土木(株)
東日本支店 総務部長
森川 嘉美

名古屋支部

1. 安全祈願

令和7年1月11日（土）に、伊勢 猿田彦神社にて酒井田支部長をはじめ名古屋支部役員、支店からは田中常務執行役員中日本支店長、支店幹部、協力会本部より竹田名誉会長、岡山本部事務局長もご参集頂き、今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。



2. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を目指し、令和7年2月5日に、第2回合同安全衛生環境パトロールを実施しました。酒井田支部長をはじめ名古屋支部役員全員参加で2班編成し、建築土木各1作業所、計2作業所に対し実施し、安全指導・要望事項を今後の安全管理に生かしていただくようお願い致しました。



参加者一同



巡視状況

【建築】岐市北消防署作業所



参加者一同



巡視状況

【土木】 岐阜新愛岐大橋作業所

3. 安全啓発活動

架空線切断、接触等の公衆災害が発生したことを受け、架空線事故防止を目的とした「架空線注意」標識の啓発物を各種作成。全作業所へ配付し、注意喚起を図りました。



【のぼり】



【バックホーアーム用】
(マグネット仕様)



【カラーコーン・単管・コーンバー用】
(マジックテープ仕様)

4. 今後の活動予定

- 4月：上期安全祈願（伊奈波神社）、第1回理事会
- 6月：支部総会・安全衛生大会
- 9月：第1回合同パトロール

5. 担当者紹介

今年度の大日本土木株式会社 安全協力会役員をご紹介致します。
大日本土木安全協力会

名誉支部長



大日本土木(株)
常務執行役員 中日本支店長
小 椋 克 泰
(東日本支店より転属)

支部事務局長



大日本土木(株)
中日本支店 環境安全品質部次長
亀 井 利 勝

支部監事



大日本土木(株)
中日本支店 総務部長
大 石 昌 央

大阪支部

1. 安全祈願

令和7年1月23日（木）に、大神神社にて支店幹部、本部岡山事務局長、安全協力会役員で、今年一年の無事故無災害と健康を祈念し、新年安全祈願を厳かに執り行いました。

ご祭神は国造りの神様・大物主大神（おおものぬしのおおかみ）さまです。神が顕現（けんげん＝化身）した白蛇が棲むことから名付けられたご神木、巳の神杉（みのかみすぎ）が、巳年ならではのパワースポットになっています。



2. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を図る為、支店の安全衛生環境パトロールに参加して安全指導を行いました。協力会役員参加のパトロールは、延べ15作業所にて実施し、改善点は改善をお願いし、良好な点は好事例として水平展開をお願いしました。



【建築】大阪平野処理場作業所



【土木】八尾南部配水池作業所

3. 教育啓蒙活動

体験型教育、特別教育を実施し、作業員や若手職員の危険感受性の向上を図りました。

〔重機死角体験〕



水企船橋浄水場作業所



八尾南部配水池作業所

〔安全教育用 DVD 購入〕

作業所を通じて貸し出し、視聴覚教育に活用し、安全意識の向上に役立て参ります。



4. 今後の活動予定

- 4月 安全祈願（難波八坂神社）
- 6月 支部総会（大阪国際交流センター）
- 7月 合同安全パトロール

5. 担当者紹介

今年度の大日本土木株式会社 安全協力会役員をご紹介します。

大日本土木安全協力会

名誉支部長



大日本土木(株)
執行役員 西日本支店長
細野 俊 英

支部事務局長



大日本土木(株)
西日本支店 環境安全品質部次長
廣瀬 淳 司

支部監事



大日本土木(株)
西日本支店 総務部長
田上 裕 之
(海外支店総務部より転属)

大日本土木安全協力会 本部役員名簿（2025年4月1日現在）

本部役職名	会 社／役職名	氏 名	備 考
名誉会長	大日本土木株式会社 代表取締役 常務執行役員	竹 田 勝 一	
会 長	株式会社森屋製作所 代表取締役会長	森 屋 泰 則	
副 会 長	株式会社森田組 代表取締役	藤 澤 徹	東京支部 支部長
”	株式会社酒井田工務店 代表取締役	酒 井 田 雅 一	名古屋支部 支部長
”	株式会社山川 代表取締役社長	山 川 数 也	大阪支部 支部長
本部理事	児玉建設株式会社 常務取締役	深 津 三 峰 男	東京支部 副支部長
”	北稜建設株式会社 代表取締役	小 川 滋	東京支部 副支部長
”	株式会社岡崎組 代表取締役	岡 崎 弘 志	名古屋支部 副支部長
”	株式会社永山工務店 代表取締役社長	永 山 善 一	名古屋支部 副支部長
”	株式会社浅田鉄筋 代表取締役	浅 田 宜 彦	大阪支部 副支部長
”	株式会社村岡 代表取締役会長	村 岡 順 次 郎	大阪支部 副支部長
”	大日本土木株式会社 東日本支店 環境安全品質部次長	土 田 芳 典	東京支部 事務局長
”	大日本土木株式会社 中日本支店 環境安全品質部次長	亀 井 利 勝	名古屋支部 事務局長
”	大日本土木株式会社 西日本支店 環境安全品質部次長	廣 瀬 淳 司	大阪支部 事務局長
本部監事	金神鋼業株式会社 代表取締役社長	金 神 徹 尚	名古屋支部 監事
”	大日本土木株式会社 本社 執行役員 総務部長 兼 業務改善部長	前 田 茂 浩	
本部理事	大日本土木株式会社 本社 環境安全品質部長	岡 山 孝	本部事務局長



ぜんぶのいのちと、
ワクワクする未来へ。

セネガル館 SENEGAL



EXPO 2025 大阪・関西万博

2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)が
「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに
大阪市の人工島「夢洲」で開催中

開催期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月)

大日本土木株は、現在開催中の「大阪・関西万博」海外パビリオン
【セネガル館】の内外装・展示を施工しました。



★セネガル館 SENEGAL

テーマ：持続可能で公平な開発のために人々を結ぶ交差点

